

断崖の聖地、波上宮

琉球王国随一の格式を誇る祈りの場所を識る旅へ

都市と自然、信仰が交わる場所

波上宮は、那覇空港から車で約10分、国際通りからも5分という那覇市中心部に位置します。

隆起したサンゴ礁の断崖という自然の要塞に守られながら、都市の喧騒からアクセスしやすい稀有な聖地です。

古来、人々はこの崖の上から海の彼方の理想郷「ニライカナイ」に祈りを捧げてきました。



琉球八社の筆頭、王国最高の社格

琉球王国時代、王府から特別な扱いを受けた八つの神社を「琉球八社」と呼びます。

波上宮はその中でも筆頭とされ、「琉球国一之宮」として最も高い社格を誇り、
王国の総鎮守として崇敬されてきました。

波上宮

沖宮

識名宮

普天満宮

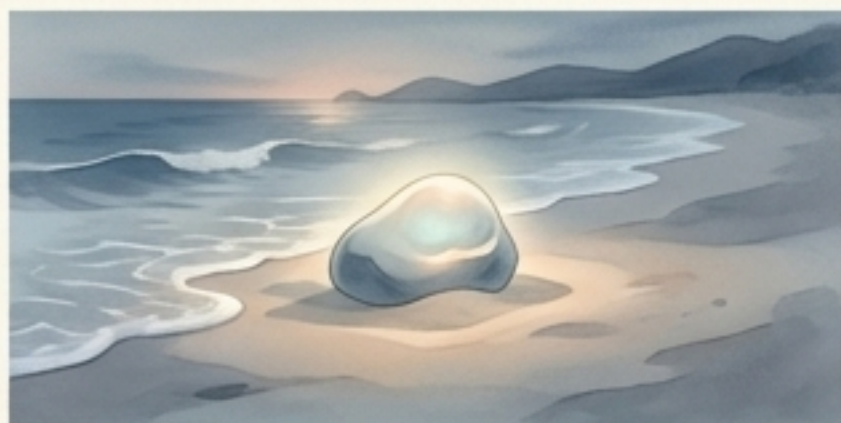
末吉宮

安里八幡宮

天久宮

金武宮

幾多の時代を越えて、祈りを紡ぐ物語



創祀

15世紀頃には創建され、琉球王国の公式な祈願所となる。
1522年、日秀上人により再興され、王国の総鎮守としての地位を
確立。



焼失

昭和28年（1953年）、ハワイ移民の寄進によって本殿と社務所が
再建。平成5年（1993年）に現在の本殿と拝殿が完成し、沖
縄の人々の心の拠り所として蘇る。

遙か昔、漁師が浜で光を放ち言葉を話す霊石を見つけ、
「我は熊野権現なり。この地に社を建てよ」との神託を受けたと
伝わる。琉球古来の自然信仰と熊野信仰が結びついた起源。

王国の庇護



昭和20年（1945年）の沖縄戦により、鳥居を除くすべての社殿
が灰燼に帰す。

再興



縁結びから海上安全まで、人々の願いに寄り添う神々

主祭神は熊野三神としても知られる伊弉冉尊（いざなみのみこと）、速玉男尊（はやたまをのみこと）、事解男尊（ことさかをのみこと）。多くの神々を生み出した夫婦神であることから、特に縁結びや安産祈願のご利益で知られています。

伊弉冉尊

速玉男尊

事解男尊



恋愛成就・良縁祈願



安産祈願



海上安全



商売繁盛



家内安全

狛犬にあらず。福を招き、災いを祓う琉球の守り神



本土の狛犬

吽形 (Un-gyō)

向かって左、口を閉じた雌。
災難を中に入れない。



阿形 (A-gyō)

向かって右、口を開けた雄。
福を招き入れる。

波上宮のシーサー

沖縄の神社である波上宮では、一般的な狛犬の代わりに、魔除けとして知られるシーサーが本殿を守っています。その表情や佇まいにも、琉球文化の独自性が表れています。

沖縄の**伝統美**をまとう、 **旅と祈りの証**

参拝の証として授与される御朱印。
波上宮では、沖縄の伝統的な染色技法である
「紅型（びんがた）」でデザインされた
オリジナルの御朱印帳も用意されています。
鮮やかな色彩と琉球らしい意匠は、旅の記念
として、また特別な贈り物としても最適です。





聖地の麓に広がる、もうひとつのパワースポット

波上宮が鎮座する断崖の下には、那覇市唯一の遊泳可能なビーチ「波の上ビーチ」が広がっています。地元では親しみを込めて「開運ビーチ」とも呼ばれており、参拝とあわせて訪れることで、心身ともに浄化されるような体験ができます。

波上宮への誘い：参拝のご案内



所在地

沖縄県那覇市若狭1-25-11



参拝時間

9:00～17:00（神事により変更の場合あり）



アクセス

ゆいレール「県庁前駅」よりバス乗車、「西武門」バス停車。
那覇空港より車で約10分。



駐車場

無料駐車場あり（約20台）。満車時は近隣のコインパーキングをご利用ください。



公式サイト

<https://naminouegu.jp/>



過去と現在が織りなす、沖縄の心の拠り所

琉球王国最高の聖地として、そして戦後の復興の象徴として、波上宮は時代を超えて超えて沖縄の人々の祈りを受け止めてきました。その存在は、歴史と文化が息づく、沖縄の魂そのものです。

<https://naminouegu.jp/>